

医療事故調査教育セミナー2016 (最終版)

— 院内における医療事故調査法の基本的な方法 —

(会期) 2016年9月3日(土)～4日(日) 受付開始: 9月3日午前9時
(会場) 東大法文1号館2階25番講堂(定数700名) …東大本郷キャンパス正門付近
東京都文京区本郷7-3-1 (地下鉄丸の内線ないし都営大江戸線本郷三丁目駅下車・徒歩10分)
(主催) 国際医療リスクマネジメント学会 (後援) 日本医療安全学会

(受講対象者) 国際医療リスクマネジメント学会の会員、日本医療安全学会の会員、統括医療安全管理者、医療安全管理者、臨床リスクマネージャー、医薬品安全管理者、歯科医療安全管理者、医療機器安全管理者、医師、看護師、薬剤師、歯科医師、臨床工学技士、放射線技師、歯科衛生士、その他の医療従事者。

(趣旨) 厚労省では全国の医療施設に対して医療事故調査の発生時に院内における医療事故の原因調査を義務化し、本年6月に改訂しました。本教育セミナーは医療機関で安全管理業務を担当される方を対象に、政府指定の院内事故調査制と死亡事故以外での事故調査の基本的な方法を講義します。

また、学会認定「高度医療安全管理者」資格制度の必須科目でもあります。
参加者には受講終了書を発行します。

プログラム

2016年9月3日(土)

- 10:15～11:00 「交付2年、制度の見直しをへて」 ～ 改めて医療事故調査制度について ～
木村 壮介 (日本医療安全調査機構専務理事、中央事務局長)
- 11:15～12:00 改定された院内事故調査制度への日本医師会の新たな対応の概要
上野 道雄 (日本医師会医療安全対策委員会副委員長)
- 13:00～14:50 インシデント・アクシデントの調査方法とまとめ方
小松原 明哲 (早稲田大学理工学院教授)
- 15:00～17:00 リスクアセスメント(リスク分析と評価)の方法
村山 武彦 (東京工業大学環境・社会理工学院 教授)

2016年9月4日(日)

- 9:00～10:20 医療事故の根本原因分析の方法 —ヒューマンファクター(人間工学)の立場から
清野 敏一 (帝京平成大学薬学部教授、東大病院前薬剤部副部長)
- 10:30～12:00 院内における医療事故調査システムの作り方
川崎 志保理 (順天堂大学病院心臓外科准教授、東京都医師会「よろず相談窓口」)
- 13:30～14:20 院内医療事故調査における解剖による死因究明の進め方
内藤 善哉 (日本医科大学医学部統御機構診断病理学 教授)
- 14:30～15:30 院内医療事故調査に対する被害者遺族からの要望
勝村 久司 (患者の立場で医療安全を考える連絡協議会世話人)

参加申込締め切り: 2016年8月22日(月)

定数(700名)になり次第、登録受付を閉め切ります。

参加費は下記ホームページに掲載した申込書をご覧ください。

担当事務局

国際医療リスクマネジメント学会本部

〒113-0033 東京都文京区本郷 4-7-12-102

(Tel/Fax) 03-3817-6770

(電子メール) head.office02@iarmm.org